

議会の評価

令和7年度事業評価報告書

・令和6年度決算審査分 事業評価

瑞浪市議会では、瑞浪市議会基本条例第7条2項「議会は、決算審査に当たって、市長等執行機関が執行した事業等の評価を行うものとする」の定めに則り、平成26年から毎年事業評価を実施しています。

令和6年度決算審査における下記5事業を取り上げ、全議員による個別評価を基に、予算決算委員会の場で評価を確定しました。

■令和6年度決算審査分 事業評価

番号	事業名
1	ふるさとみずなみ応援寄附金事務経費
2	家族介護支援経費（クーポン）（介護保険事業特別会計）
3	有害鳥獣被害防止対策事業
4	地域新電力会社設立調査事業
5	道の駅整備事業

瑞 浪 市 議 会

令和7年度事業評価報告書 目次

令和6年度決算審査分 事業評価

総合評価表（議員別事業評価）	1
----------------	---

事業評価書・議員別評価一覧表

1 ふるさとみずなみ応援寄附金事務経費	2～3
2 家族介護支援経費（クーポン）（介護保険事業特別会計）	4～5
3 有害鳥獣被害防止対策事業	6～7
4 地域新電力会社設立調査事業	8～9
5 道の駅整備事業	10～11

令和6年度決算審査分 総合評価表（議員別事業評価）

評 価 事 業	福永泰子	犬塚利彦	奥村一仁	棚町潤	柴田幸一郎	三輪田幸泰	辻正之	樋田翔太	渡邊康弘	大久保京子	小木曾光佐子	成瀬徳夫	榛葉利広	熊谷隆男	加藤輔之	柴田増三	平均点
ふるさとみずなみ応援寄付金事務経費	74	57	67	72	81	69	67	74	62	64	81	79	74	72	79	67	B(71.3)
家族介護支援経費(クーポン)	57	79	67	57	67	64	62	74	52	74	81	74	74	53	67	57	C(66.1)
有害鳥獣被害防止対策事業	50	74	46	43	76	74	53	67	57	43	62	53	48	46	79	57	C(58.1)
地域新電力会社設立調査事業	38	62	38	57	62	52	69	38	45	38	38	33	38	41	38	45	D(45.9)
道の駅整備事業	62	57	43	33	55	65	81	43	31	43	31	26	29	36	53	43	D(45.8)

A	B	C	D	E
85～100	70～84	50～69	35～49	0～34

令和 6 年度決算審査分 議員別評価一覧表

評価事業名		① ふるさとみずなみ応援寄附金事務経費				
議 員 名	必 要 性	実 施 主 体	目 標 指 標	効 率 性	成 果	議 員 別 評 価
福 永 泰 子	10	10	5	28	21	B (74)
犬 塚 利 彦	5	5	5	21	21	C (57)
奥 村 一 仁	10	10	5	28	14	C (67)
棚 町 潤	10	10	10	21	21	B (72)
柴 田 幸 一 郎	10	10	5	28	28	B (81)
三 輪 田 幸 泰	10	5	5	21	28	C (69)
辻 正 之	10	10	5	21	21	C (67)
樋 田 翔 太	10	10	5	21	28	B (74)
渡 邊 康 弘	10	5	5	21	21	C (62)
大 久 保 京 子	5	5	5	21	28	C (64)
小 木 曾 光 佐 子	10	10	5	28	28	B (81)
成 瀬 徳 夫	10	10	10	28	21	B (79)
榛 葉 利 広	10	10	5	21	28	B (74)
熊 谷 隆 男	10	10	10	21	21	B (72)
加 藤 輔 之	10	10	10	21	28	B (79)
柴 田 増 三	10	10	5	21	21	C (67)
平 均 値	9.4	8.8	6.3	23.2	23.6	B (71.3)

令和 6 年度決算審査分 事業評価書

評価事業名	①ふるさとみずなみ応援寄附金事務経費	シティプロモーション課
-------	--------------------	-------------

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(10)	14	9.4
	②	(5)	2	
	③	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(10)	12	8.8
	②	(5)	4	
	③	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
目標指標 目標指標は 妥当か	①	(10)	4	6.3
	②	(5)	12	
	③	(0)	0	

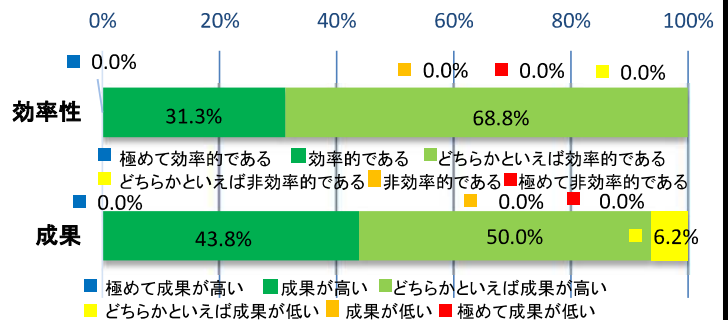
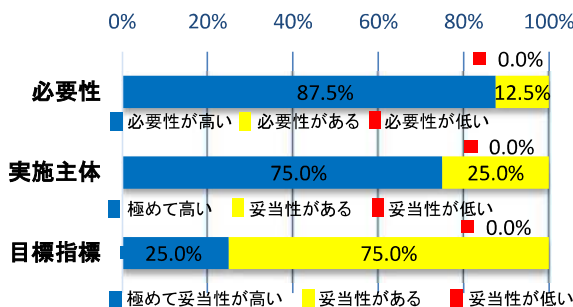
評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(35)	0	23.2
	②	(28)	5	
	③	(21)	11	
	④	(14)	0	
	⑤	(7)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
成果 目的の達成状 況	①	(35)	0	23.6
	②	(28)	7	
	③	(21)	8	
	④	(14)	1	
	⑤	(7)	0	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
B (71.3)

評価基準	評価数
A きわめて良好である	0
B 良好である	9
C おおむね適正である	7
D 問題がある	0
E かなり問題がある	0



評価結果

必要性 実施主体	本事業は、財源確保の観点からも重要な事業で必要性が高い事業である。
目標指標	目標指標については妥当であると考えるが、目標値が的確であるかどうか、特産品のPR方法や他自治体との比較検討も必要である。
効率性 成果	ポータルサイトや返礼品目を増加したことが、寄附金額の増額につながっていることは効率的であると評価できる。今後、ふるさと納税市場の拡大も考えられるなか、瑞浪市ならではの返礼品の開拓、既存返礼品のブラッシュアップなど、他課とも連携を取り更なる工夫によって、新規寄附者、リピーターの確保に努めていただきたい。

令和 6 年度決算審査分 議員別評価一覧表

評価事業		② 家族介護支援経費（クーポン）				
議 員 名	必 要 性	実 施 主 体	目 標 指 標	効 率 性	成 果	議 員 別 評 価
福 永 泰 子	5	5	5	21	21	C (57)
犬 塚 利 彦	10	10	10	21	28	B (79)
奥 村 一 仁	10	10	5	28	14	C (67)
棚 町 潤	5	5	5	21	21	C (57)
柴 田 幸 一 郎	10	10	5	21	21	C (67)
三 輪 田 幸 泰	5	5	5	28	21	C (64)
辻 正 之	10	10	0	21	21	C (62)
樋 田 翔 太	10	10	5	28	21	B (74)
渡 邊 康 弘	5	5	0	21	21	C (52)
大 久 保 京 子	10	10	5	28	21	B (74)
小 木 曾 光 佐 子	10	10	5	28	28	B (81)
成 瀬 徳 夫	10	10	5	28	21	B (74)
榛 葉 利 広	10	10	5	21	28	B (74)
熊 谷 隆 男	10	10	5	14	14	C (53)
加 藤 輔 之	10	10	5	21	21	C (67)
柴 田 増 三	5	5	5	21	21	C (57)
平 均 値	8.4	8.4	4.7	23.2	21.4	C (66.1)

令和 6 年度決算審査分 事業評価書

評価事業名	②家族介護支援経費（クーポン）	高齢福祉課
-------	-----------------	-------

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(10)	11	8.4
	②	(5)	5	
	③	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(10)	11	8.4
	②	(5)	5	
	③	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
目標設定 目標指標は妥 当か	①	(10)	1	4.7
	②	(5)	13	
	③	(0)	2	

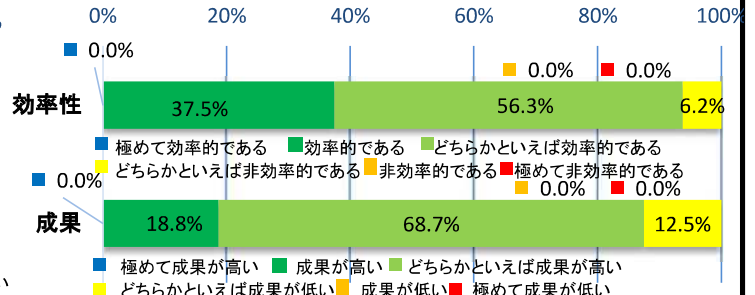
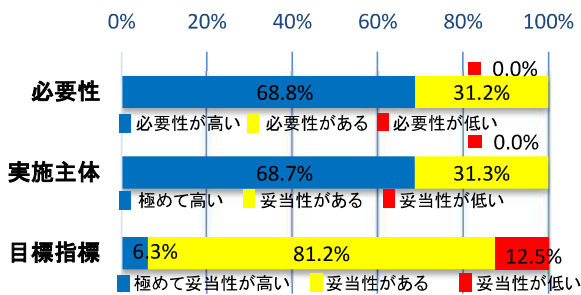
評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(35)	0	23.2
	②	(28)	6	
	③	(21)	9	
	④	(14)	1	
	⑤	(7)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
成果 目的の達成状 況	①	(35)	0	21.4
	②	(28)	3	
	③	(21)	11	
	④	(14)	2	
	⑤	(7)	0	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
C (66.1)

評価基準	評価数
A きわめて良好である	0
B 良好である	6
C おおむね適正である	10
D 問題がある	0
E かなり問題がある	0



評価結果

必要性 実施主体	対象世帯の経済的負担軽減を図る本事業は必要性が高い事業である。
目標指標	申請漏れが生じる可能性があること、対象者に対して広く制度を周知していく必要があることから、目標指標はクーポン使用枚数ではなく、利用人数の方がわかりやすい。
効率性 成果	令和 6 年度から条件付きで要介護 3 以上の方も対象としたことは評価できる。 ケアマネジャーとの連携はスムーズで、行政手続きや事務処理の面で一定の効率性が確保できている。今後も申請漏れが無いようケアマネジャーとの連携を強化できるとよい。

令和 6 年度決算審査分 議員別評価一覧表

評価事業		③ 有害鳥獣被害防止対策事業				
議 員 名	必 要 性	実 施 主 体	目 標 指 標	効 率 性	成 果	議 員 別 評 価
福 永 泰 子	10	5	0	21	14	C (50)
犬 塚 利 彦	10	10	5	28	21	B (74)
奥 村 一 仁	10	10	5	14	7	D (46)
棚 町 潤	10	5	0	14	14	D (43)
柴 田 幸 一 郎	10	5	5	28	28	B (76)
三 輪 田 幸 泰	10	10	5	28	21	B (74)
辻 正 之	10	10	5	14	14	C (53)
樋 田 翔 太	10	10	5	21	21	C (67)
渡 邊 康 弘	5	5	5	21	21	C (57)
大 久 保 京 子	5	5	5	14	14	D (43)
小 木 曾 光 佐 子	10	10	0	21	21	C (62)
成 瀬 徳 夫	10	5	10	14	14	C (53)
榛 葉 利 広	10	5	5	14	14	D (48)
熊 谷 隆 男	10	10	5	14	7	D (46)
加 藤 輔 之	10	10	10	28	21	B (79)
柴 田 増 三	5	5	5	21	21	C (57)
平 均 値	9.1	7.5	4.7	19.7	17.1	C (58.1)

令和 6 年度決算審査分 事業評価書

評価事業名	③有害鳥獣被害防止対策事業	農林課
-------	---------------	-----

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(10)	13	9.1
	②	(5)	3	
	③	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(10)	8	7.5
	②	(5)	8	
	③	(0)	0	

目標設定 目標指標は妥 当か	①	(10)	2	4.7
	②	(5)	11	
	③	(0)	3	

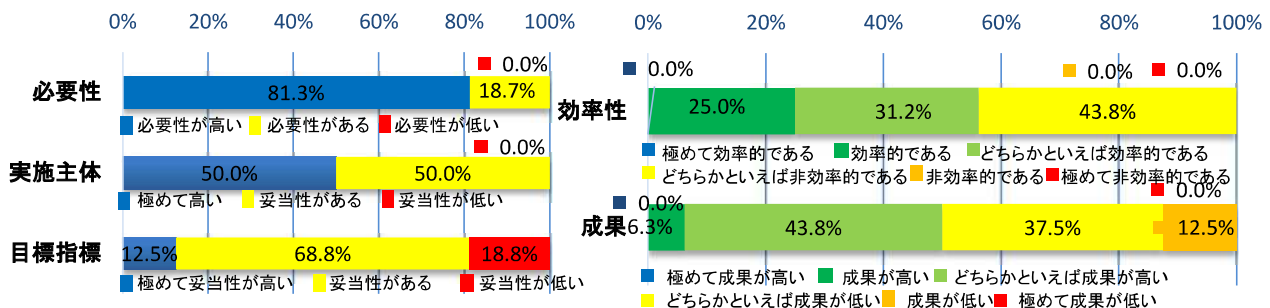
評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(35)	0	19.7
	②	(28)	4	
	③	(21)	5	
	④	(14)	7	
	⑤	(7)	0	
	⑥	(0)	0	

成果 目的の達成状 況	①	(35)	0	17.1
	②	(28)	1	
	③	(21)	7	
	④	(14)	6	
	⑤	(7)	2	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
C (58.1)

評価基準	評価数
A きわめて良好である	0
B 良好である	4
C おおむね適正である	7
D 問題がある	5
E かなり問題がある	0



評価結果

必要性 実施主体	有害鳥獣による農作物被害が増加傾向であるため、積極的な市の支援が必要である。
目標指標	目標指標の設定が曖昧である。被害額削減率ではなく、被害額・削減額とした方が良い。また、農作物被害だけでなく、農業用水路及び農道などの被害を加味したデータで目標値を設定できるとよい。
効率性 成果	電気牧柵の購入やわな猟免許取得に対する補助金制度に対して、成果を評価するには困難なところもある。また、ワイヤーメッシュ・電気牧柵での防護だけでなく、駆除が必要である。 そのためにも、鳥獣被害対策実施隊に対する支援の見直しと増員、若返りが必要である。

令和 6 年度決算審査分 議員別評価一覧表

評価事業		④ 地域新電力会社設立調査事業				
議 員 名	必 要 性	実 施 主 体	目 標 指 標	効 率 性	成 果	議 員 別 評 価
福 永 泰 子	5	5	0	21	7	D (38)
犬 塚 利 彦	10	10	0	21	21	C (62)
奥 村 一 仁	5	5	0	14	14	D (38)
棚 町 潤	5	10	0	21	21	C (57)
柴 田 幸 一 郎	10	10	0	21	21	C (62)
三 輪 田 幸 泰	5	5	0	21	21	C (52)
辻 正 之	10	10	0	21	28	C (69)
樋 田 翔 太	5	5	0	14	14	D (38)
渡 邊 康 弘	5	5	0	14	21	D (45)
大 久 保 京 子	5	5	0	21	7	D (38)
小 木 曾 光 佐 子	5	5	0	14	14	D (38)
成 瀬 徳 夫	5	0	0	14	14	E (33)
榛 葉 利 広	5	5	0	14	14	D (38)
熊 谷 隆 男	10	10	0	14	7	D (41)
加 藤 輔 之	5	5	0	14	14	D (38)
柴 田 増 三	5	5	0	21	14	D (45)
平 均 値	6.3	6.3	0.0	17.5	15.8	D (45.9)

令和 6 年度決算審査分 事業評価書

評価事業名	④地域新電力会社設立調査事業	環境課
-------	----------------	-----

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(10)	4	6.3
	②	(5)	12	
	③	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(10)	5	6.3
	②	(5)	10	
	③	(0)	1	

目標設定 目標指標は妥 当か	①	(10)	0	0.0
	②	(5)	0	
	③	(0)	16	

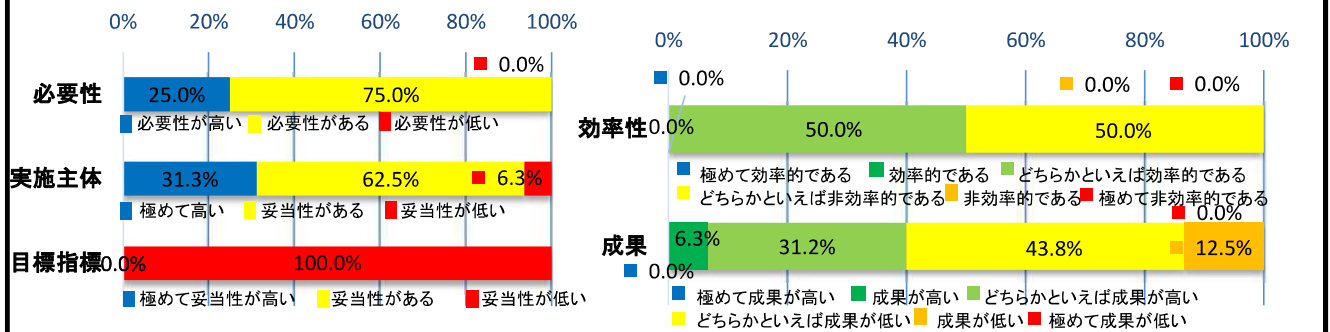
評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(35)	0	17.5
	②	(28)	0	
	③	(21)	8	
	④	(14)	8	
	⑤	(7)	0	
	⑥	(0)	0	

成果 目的の達成状 況	①	(35)	0	15.8
	②	(28)	1	
	③	(21)	5	
	④	(14)	7	
	⑤	(7)	3	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
D (45.9)

評価基準	評価数
A きわめて良好である	0
B 良好である	0
C おおむね適正である	5
D 問題がある	10
E かなり問題がある	1



評価結果

必要性 実施主体	ゼロカーボンシティ宣言をしているため、遊休地での地域新電力の検討は必要であるが、地域新電力の可否が経済収支のみで判断されて良いのか。自然環境に配慮した大きな目線で考えるべきである。
目標指標	令和 6 年度の新事業で目標実績値が無いため、目標設定評価点を 0 点とした。
効率性 成果	当初に予定された期間内に調査結果が出なかったことが非効率で低い評価となった。鶏糞バイオマス発電などの調査研究が行われているが、鶏糞量の確保が現実的でないことから、実現の可能性は低いと考える。 環境保全、収益性の兼ね合いなどから課題も多い。

令和 6 年度決算審査分 議員別評価一覧表

評価事業		⑤ 道の駅整備事業				
議 員 名	必 要 性	実 施 主 体	目 標 指 標	効 率 性	成 果	議 員 別 評 価
福 永 泰 子	5	10	5	21	21	C (62)
犬 塚 利 彦	5	5	5	21	21	C (57)
奥 村 一 仁	5	5	5	21	7	D (43)
棚 町 潤	5	0	0	14	14	E (33)
柴 田 幸 一 郎	5	10	5	21	14	C (55)
三 輪 田 幸 泰	10	10	10	21	14	C (65)
辻 正 之	10	10	5	28	28	B (81)
樋 田 翔 太	5	10	0	14	14	D (43)
渡 邊 康 弘	5	5	0	14	7	E (31)
大 久 保 京 子	5	5	5	21	7	D (43)
小 木 曾 光 佐 子	5	5	0	7	14	E (31)
成 瀬 徳 夫	0	0	5	7	14	E (26)
榛 葉 利 広	5	5	5	7	7	E (29)
熊 谷 隆 男	5	10	0	14	7	D (36)
加 藤 輔 之	10	10	5	14	14	C (53)
柴 田 増 三	5	5	5	14	14	D (43)
平 均 値	5.6	6.6	3.8	16.2	13.6	D (45.8)

令和 6 年度決算審査分 事業評価書

評価事業名	⑤道の駅整備事業	シティプロジェクト推進課
-------	----------	--------------

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(10)	3	5.6
	②	(5)	12	
	③	(0)	1	

実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(10)	7	6.6
	②	(5)	7	
	③	(0)	2	

目標設定 目標指標は妥 当か	①	(10)	1	3.8
	②	(5)	10	
	③	(0)	5	

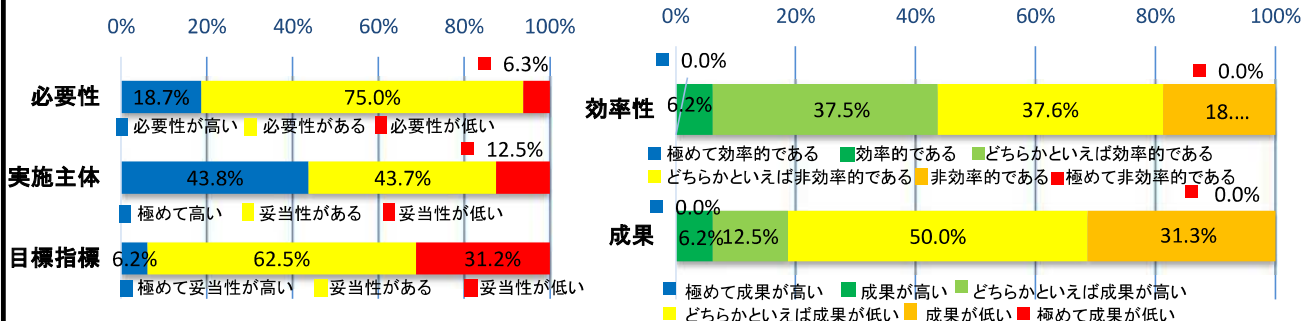
評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(35)	0	16.2
	②	(28)	1	
	③	(21)	6	
	④	(14)	6	
	⑤	(7)	3	
	⑥	(0)	0	

成果 目的の達成状 況	①	(35)	0	13.6
	②	(28)	1	
	③	(21)	2	
	④	(14)	8	
	⑤	(7)	5	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
D (45.8)

評価基準	評価数
A きわめて良好である	0
B 良好である	1
C おおむね適正である	5
D 問題がある	5
E かなり問題がある	5



評価結果

必要性 実施主体	近隣の道の駅、きなあた瑞浪との住み分けに懸念があること、事業開始から8年経過しているため、現在施設整備が本当に求められているのか疑問である。
目標指標	事業完了時期が明確になっていないことから目標設定が難しい。
効率性 成果	瑞浪恵那道路及びリニア工事の遅れにより事業の進捗が遅れていることはやむを得ないが、完成時期がずれることで様々なニーズも変化するため、再度検討し直す必要もあると考える。